事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	Ⅰ	ソフト事業

1次評価のみ対象分

	コード	名　　称	区分	コード	名　　称
事業名	420	緑化推進経費（庭木の整枝・剪定講習会）	会計	01	一般会計
			款	08	土木費
基本施策	28	緑化を進め、公園や緑地を整備する	項	04	都市計画費
			目	05	公園費
施　策	1	身近な公園の整備	細目	102	緑化推進経費
			細々目	02	緑化推進経費

基本計画該当頁	119	担当部課	コード	190700	評価者氏名	田中政則	連絡先	22 － 9827
行革大綱の重点事項番号			名称	建設部都市計画課				（内線） 2860

事業の計画・内容

事業目的	対象等（何が、誰が）	成果（どうなるのか）
	樹木への親しみを深め、緑化を推進するため、庭木づくりに関心のある市民 （※対象件数　　）	手入れの行き届いた樹木が植栽された庭や公園が増え、景観が向上する。

開始年度	平成　　年度	関連事業	
終了年度	平成　　年度	根拠法令・要綱等	

事業内容	状況変化等
庭木の整枝・剪定講習会	

整備内容

1 建設用地	
2 建設面積（延床面積）	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制

1 運営主体	☐直営　☐指定管理　☑民間委託等
委託先	（　　）
2 配置（予定）人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値 H18		実績値 H19		目標値 H20	目標値 H21
庭木の整枝・剪定講習会	回	目標	1	目標	1	1	1
		実績	1	実績	1		
		目標	—	目標			
		実績		実績			
		目標	—	目標			
		実績		実績			
		目標	—	目標			
		実績		実績			
		目標	—	目標			
		実績		実績			

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値 H18		実績値 H19		目標値 H20	目標値 H21
伊賀市民の参加者数	市域から満遍なく参加者があることを良とする。	人	目標	80	目標	100	70	70
			実績	82	実績	50		
			目標		目標			
			実績		実績			

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	3	市が開催場所の提供を行い、ボランティア的な立場で造園業組合に講習を行ってもらっている。関心のある市民が参集しての講習であるが、この受講を通じて居住地の緑化意識の高まりや管理された緑が広まることで、対象者以外の第三者にも利益がおよぶ事業である。
有効性	4	街路を通行する人、近隣住民に好感を与えられる。
達成度	3	参加者は昨年より減少したが、適正な受講人員に近く、寧ろ講習効果は高まった。
効率性	4	講習会場を上野公園とすることで、植木の剪定を兼ねることができ効率性は高い。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	旧町村での実施も含め市域全域への普及について検討

進捗状況	平成18年度 決算内容				平成19年度 決算内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容			
年度	事業内容	数量	単位	金額（千円）	事業内容	数量	単位	金額（千円）	事業内容	数量	単位	金額（千円）	事業内容	数量	単位	金額（千円）
委託	謝礼	1	回	30	謝礼	1	回	30	謝礼	1	回	30	謝礼	1	回	30
工事	消耗品	1	式	30	消耗品	1	式	10	消耗品	1	式	30	消耗品	1	式	30
	食糧費	1	式	9	食糧費	1	式	8	食糧費	1	式	9	食糧費	1	式	9
進捗率（%）	事業費計(A)		Σ	69	事業費計(A)		Σ	48	事業費計(A)		Σ	69	事業費計(A)		Σ	69
事業投入人員	人件費(B)	0.02	人	144	人件費(B)	0.02	人	144	人件費(B)	0.02	人	144	人件費(B)	0.02	人	144
フルコスト（A）＋（B）				213				192				213				213

事業費（人件費除く）の財源内訳

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
(A)	事　業　費	69	48	69	69
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	69	48	69	69
	計	69	48	69	69
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				